

柘植地域

# まちづくりだより

第277号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地  
(柘植地区市民センター内)



発行日

〒五一九一四〇二  
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三  
2022(令和4)年2月1日(火)

柘植地域俳句コーナー  
春を待つ

母のシヨールを  
繕うて

岡島 千秋

## オミクロン株・急拡大

### 【第6波】到来

■『まん延防止等重点措置』再施行

◆ 一般の新型コロナ(オミクロン株)の急速な拡がり(過去最大級)を受け、東海3県(愛知・岐阜・三重)に於いても、再び『まん延防止等重点措置』が適用されました。

市民には、「感染防止」に向け、従来の対策の徹底に加え、特に若年層(小児等)に対する感染防止対策が重要(家庭内感染防止)で、其の旨の周知徹底が求められます。

然し乍ら、現状の感染ルートは不詳な事が多く、海外や県外との往来も無く、所謂『市中感染』が殆どと為って居ます。

更に、ワクチン2回接種の人でも感染して居り、誰もが感染する可能性が有ります。此の柘植地区に於いても、何時感染者が増えるとも分らず注意喚起が必要です。

当市民センターに於いても、「感染対策」

の徹底を図りつつ安全なる運営を心掛けて居ます。当面の間、市民の皆さんには御不便をお掛け致しますが、現状ご理解の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

◆ 当月は、再びの感染拡大を受け、各種のサークル活動・部会活動も休止を余儀無くされて居ます。一刻も早く通常のサークル教室・部会・委員会活動等が復活出来る事を願わずには居られません。

【新型コロナウィルス】との闘いは、遂に3年目に突入しました。  
世界中で、3億3100万人超が感染、結果、555万人余りの人々が死亡。

(大阪市の人口・275万人の2倍超の人が亡くなった事に為ります。)  
日本国内に於ける感染者数は、194万人・死者は、1万9千人弱。

◆ 此の間、世界の様相は激変し、日常生活が一変。日本に於いても、総務省の統計に依ると、コロナで職を失った人々(長期失業者)の総数は、66万人。

◆ 倒産件数は、全国で2676件へ1月現在業種別上位は、飲食店・建設工事業・食品卸・ホテル旅館業等が占めて居り、コロナ禍に於いて、経営が立ち行かず倒産という不幸な現実。世界中を奈落の底に陥れ、「コロナ」を蔓延させた真因は何か? 改めて其の大罪を問わざるを得ません。

### ◆ 支所機能の在り方について

伊賀支所 振興課より

1、支所の設置目的  
住民自治組織と住民自治活動の充実を積極的に支援する機関として「支所」を継続し住民自治協推進の担当職員を配置します。

### 【地域意見への対応】

① 「支所」の名称を継続して使用します。  
② 地域の行政窓口として「支所」を設置する事を条例で定めます。

### 2、組織上の位置付けと業務

(1) 支所の位置付け  
支所機能の見直しに伴い、住民自治協議会が主体と為ってまちづくりに取り組む事を

支援する体制として、令和4年度から地域連携施策を統括する「地域連携部」を設置し、統制が取れた住民自治を推進する体制を構築します。「支所」は「地域連携部」に属し、上野・伊賀・島ヶ原・阿山・大山田・青山の6支所が存続

※青山を除く5支所の位置は現在の場所を踏襲しますが、青山支所については、本年3月に完成予定の複合施設に移転します。

#### 【支所の主業務】

住民自治の推進・住民自治協議会、区及び自治会の支援及び連携・地区市民センターの管理・地域防災・人権啓発

税・住民票・戸籍の証明・印鑑証明等、各種証明書の交付・戸籍、住民異動に係る諸届、申請・印鑑登録・埋火葬許可書の発行、火葬場の使用予約・市税、保険料、使用料その他、歳入金の収納

市民生活に関する各種相談  
各種届出・申請書の受付、及び取り次ぎ

#### (2)支所業務の調整

支所で行う業務については、支所の設置目的である「住民自治の振興」を主軸としつつ、上野支所以外の支所では、各種証明書の発行や申請書の受け付け等、日常的な行政窓口を行うよう調整します。

地域の行政窓口としての機能を残しつつ、専門的な業務はそれぞれ専門の部署で行うことで、事務の効率化と組織のスリム化を

図ります。

※12月議会に於いて、「伊賀市行政組織条例」及び「支所設置条例」の一部が改正され、前述前項通り、伊賀支所振興課から「支所機能の在り方」に関する概要が示された次第です。

此処に至る迄、種々様々紆余曲折は有りましたが、「支所廃止案の撤回について」の「請願書」が議会にて採択され、多岐に渡る「地域住民の声」が奏功し、「支所存続」に至ったものと思われれます。

### ★☆☆ 編集後記 ☆☆☆

▼【人間万事 塞翁が馬】・中国の故事「淮南子・人間訓」えなんじじんかんくん由り・昔、中国の北辺の塞上(砦・とりで)に住む老翁の飼って居た馬が胡の国に逃げたが、数か月後、胡の名馬を連れて帰って来た。然し、翁の息子が其の馬に乗った際、落馬して足を折り負傷。其の為、時同じくして勃発した胡人との戦争に際し、徴兵を免れた為、集落の殆どの若者が戦死したが、息子は生き長らえる事が出来た。

▼人生の幸・不幸は予測し難く、「幸福」と思える事が、後に「不幸」と為る事も有り、又逆に「不幸」な事が起こっても後々「幸福」な事に転じる事も有る。人生の吉凶は容易に定め難い。という故事に由来。

【禍福は糾える縄の如し】

▼山中伸弥教授(京都大学iPS細胞研究所長・ノーベル生理学・医学賞)が、かつて近畿大学の卒業式の特別ゲストに招かれ卒業生にエールを送った要旨を紹介します。

▼私の父は東大阪で小さな町工場を営み、私が中学生時、怪我が原因で輸血。其の輸血が原因で酷い肝臓病に為るも医師の懸命の治療で治癒。其の事が原因で、父は私に経営者では無く、医学の道を勧めてくれた。

▼神戸大学医学部を卒業後、大阪の大病院に入り臨床外科医を目指すも手先の不器用さを咎められ上司から毎日怒鳴られ、山中とは呼ばれず「ジャマナカ」「こら、ジャマナカ」と揶揄され、遂に臨床医を断念。

▼大学院に入り直し「研究者」の道を志し渡米。アメリカでの研究者生活は順調でしたが、帰国後の研究環境が全く異なり、来る日も来る日も実験用マウスの世話係。研究者としても駄目だと又自信を失くす羽目に。然し、今度は何とか踏み留まり「iPS細胞」という技術に辿り着いた次第です。

▼私にとっても【塞翁が馬】は何度も何度も出現しました。皆さんに言いたい事は、人生進むべき道は決して一つでは無い。

此の道が駄目為らば、別の道が必ず在る。絶対に諦めず、次の道を模索する事です。

◆山中先生の言葉通り、今後の「受験」「就職」に際し、皆さんの選択肢は様々有ります。将来への可能性は無限に有ると肝に銘じ頑張つて欲しいと祈念します。(清水)